



歓迎のご挨拶

香川県ソフトテニス連盟

会長 多田 光 廣

令和4年度第77回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会が、全国でご活躍のトッププレイヤーの皆様をお迎えし、ここ香川の地にて初めて開催出来ますことに深く感謝申し上げますと共に、心より歓迎いたします。

本大会もコロナウィルス蔓延の影響により、3年ぶりの開催となり、選手の皆様も心待ちにして、日々の練習やその他の大会に参加されていたものと推察いたします。本大会に賭ける熱い思いを胸に、日頃鍛えられた力を存分に発揮され、観客の皆様感動を与える素晴らしい試合を見せていただけますことを期待しております。

さて、ソフトテニス界を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少が急速に進み、競技人口の減少に歯止めがかからない状況にあるほか、中学校の部活動を地域移行する方針が示されるなど多くの課題を抱えておりますが、本大会がより多くの方々にソフトテニス競技の魅力を感じていただき、今後益々の発展と愛好者の拡大に繋がることを切に願っております。

本年度は尽誠学園高等学校男子団体のインターハイ優勝をはじめ全国大会3連覇と言う素晴らしい活躍などと並び元香川県ソフトテニス連盟会長田万豊廣氏が日本スポーツ協会より第17回（令和4年度）日本スポーツグランプリを受賞されるなど本県の連盟およびスポーツ界にとって大変栄誉な年となっております。

また、今年は3年に一度、瀬戸内海の島々を舞台に現代アートの祭典「瀬戸内芸術祭2022」の秋会期が開催されています。海外メディアからも高い評価をいただき、外国人観光客をはじめ数多くの来場者が訪れるイベントとして有名であります。ぜひ、この機会に瀬戸大橋や瀬戸内海の多島美を満喫していただき、併せて香川県の誇る観光名所、金刀比羅宮、栗林公園、丸亀城、総本山善通寺などを訪れ、讃岐の歴史や文化の香りに触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、ご支援、ご協力を賜りましたすべての関係者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、ご参加いただきました選手の皆様方のご健勝と今後益々のご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。